

日本学術振興会 科学研究費
基盤研究 (B) 19H01648
公開シンポジウム

日時 2022年1月22日 (土)
14:00~16:30

会場：佛教大学15号館
オープンラーニングセンター(対面)
+ zoomウェビナーによる
ハイブリッド開催



ネットいじめの現在 (いま)

一スクール・カーストの視点を手がかりに一

第1部 調査報告

14:00~15:00

「ネットいじめの
実態」

第2部 基調講演

15:00~16:00

「スクール・カースト
研究の最前線
から」

第3部 緊急対談

16:00~16:30

「ネットいじめと
スクール・
カースト」

コロナ禍で子どもたちの生活が激変しています。なかでもゲームの利用時間が長くなり、その影響を受け、ネットでのいじめの増加が見られ始めています。一方で、学校現場はGIGAスクールへの対応に追われており、ネットリテラシーに関する教育が喫緊の課題となっています。子どもたちのなかに深刻な影を落とすと言われる「ネットいじめ」は今どのような実態にあるのでしょうか。本シンポジウムでは「ネットいじめの現在 (いま)」をテーマに大規模調査データの分析から見える子どもたちのリアルを考えるとともに、**ネットいじめの問題を「スクール・カースト」の視点を手がかりに分析してみたい**と思います。学校で起こっている現象に興味のある研究者はもとより、多くの教職員の皆さんや保護者の方々にも広く参加いただきますようお願い申し上げます。

申込方法

Googleフォームからのお申し込み (参加費無料 対面60名・オンライン500名定員)
<https://forms.gle/SueBm8L6Xjd8nfzs5>

申込締切

定員になり次第締め切ります。オンライン参加に申し込まれた方には1月20日 (木) 頃にzoomのURLを返信いたします。

主催：佛教大学 原清治研究室

後援：京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、ミネルヴァ書房

【プログラム】

第1部 14:00～15:00

- 調査報告** 「ネットいじめの実態－科研調査の報告－」
浅田瞳 「ネットいじめの様相－学年と地域に注目して－」
長谷川誠 「ネットいじめの変化要因－高校生の日常生活に注目して－」
小林元気 「ネットいじめの規定要因－学校レベルと個人レベルに注目して－」

第2部 15:00～16:00

基調講演 「スクール・カースト研究の最前線から」 鈴木翔（秋田大学）

第3部 16:00～16:30

緊急対談 「ネットいじめとスクール・カースト」 原清治（佛教大学）・鈴木翔（秋田大学）

【登壇者プロフィール】

原清治
(佛教大学教授・副学長)

鈴木翔
(秋田大学准教授)



1960年、長野県生まれ。専門は教育社会学、学校臨床教育学。神戸大学大学院博士後期課程修了。博士（学術）。ネット社会における子どもたちの人間関係やいじめ、不登校の問題を中心に研究。著書に『ネットいじめの現在』（ミネルヴァ書房、2021年）など多数。



1984年、秋田県生まれ。教育社会学者。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。主な研究テーマは中高生の交友関係。著書に『教室内カースト』（光文社新書、2012年）『現代社会論』（共著、有斐閣、2015年）など多数。



長谷川誠（神戸松蔭女子学院大学
准教授）

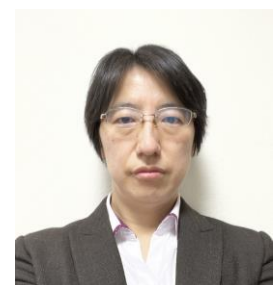


1975年、愛知県生まれ。専門は教育社会学。佛教大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士（教育学）。高校生・大学生の進路問題、部活動問題を中心に研究。著書に『大学全入時代における進路意識と進路形成』（ミネルヴァ書房、2016年）など。

小林元気（鹿児島大学准教授） 浅田瞳（華頂短期大学准教授）



1979年、大阪府生まれ。専門は教育社会学、高等教育論。神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程修了。博士（学術）。学生の国際移動を中心に研究。主な論文に、「日本人学生の留学経験は就労後の所得を高めるか—大学教育における留学の意義再考」（『大学教育学会誌』41(1)、2019年）など。



1978年、大阪府生まれ。専門は教育社会学、情報教育。佛教大学大学院教育学研究科修士課程修了。ネットいじめや情報教育を中心に研究。主な論文に「ネットいじめの変遷に関する実証的研究」（『佛教大学大学院紀要教育学研究科篇』18、2019年）など。